



我孫子と嘉納治五郎展

我孫子と嘉納治五郎展

展示期間：平成30年5月19日（土）～5月22日（火）10時～17時

会場：我孫子市民プラザ ギャラリー（入場無料）

内容：明治44（1911）年、講道館を創設した柔道家であり、教育者として知られる嘉納治五郎が我孫子に別荘と農園を設けたことにより、我孫子は手賀沼を臨み、東京から至近の別荘地として知られるようになった。その結果、嘉納治五郎の甥で、雑誌『白樺』において新たな「美」の創出に取り組んでいた柳宗悦が来市し、友人の志賀直哉、武者小路実篤、バーナード・リーチを我孫子に誘うことにつながった。その後も嘉納治五郎の教え子 東京帝国大学教授 村川堅固、新聞記者 杉村楚人冠が別荘や邸宅を設け、大正から昭和初期の我孫子は日本文化をリードする知識人が集う特別な場所となった。

つまり、嘉納治五郎が文化都市 我孫子を牽引したといっても過言ではない。市民にもその認知が進み、小中学校では嘉納治五郎を「ふるさとカリキュラム」の題材として取り上げ、別荘跡地も公園として整備された。また、生誕160年を控える2020年が東京オリンピックに当たることから、市民団体「我孫子の文化を守る会」では、嘉納治五郎別荘跡地に嘉納治五郎の銅像を作る計画を進めている。

本展示は嘉納治五郎の我孫子における活動を取り上げ、顕彰することを目的とする。

主な展示物：我孫子に伝わる嘉納治五郎筆の扁額5枚を一同に会します…「力必達」（つとむればかならずたつ）「鏡為人以」（ひとをもつてかがみとなす）（第一小学校）、「擇道竭力」（みちをえらびてちからをつくす）（市長室）、「三樹荘」（さんじゅそう）「従善如流」（ぜんにしたがうことながるるがごとし）（個人蔵）、嘉納治五郎と我孫子のかかわりを示す解説パネル、ゆかりの地の地図・写真類など



講演会（我孫子の文化を守る会と共催事業）

「嘉納治五郎とオリンピックムーブメント」

講師 筑波大学体育専門学群長 真田 久先生

日時：5月19日（土）午後2時～3時半（1時半開場、先着150名）

場所：「我孫子市民プラザ ホール」 参加費300円

講演会の問い合わせ先 我孫子の文化を守る会 美崎さん 080-3410-4426

【問い合わせ】

我孫子市生涯学習部文化・スポーツ課

担当 今野

☎ 04-7185-1583